

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 3 月 11 日作成)

小委員会名	浮遊微生物サンプリング法学会規準作成 小委員会	主 査 名：柳 宇 就任年月：2011 年 3 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：久野 覚
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2009 年 4 月～2011 年 3 月の 2 年間、空気運営委員会・室内空気環境小委員会傘下に“浮遊微生物サンプリング法学会規準作成 WG”を設置し、WD を作成した。また、予定通り 2011 年 3 月提出の WD をもって上記の WG が廃止された。本小委員会では学会規準に向けてのプロセスに従って CD を作成し、内部査読、第 1 次外部査読、パブコメ、第 2 次外部査読、講習会を経て学会規準を作成する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：柳 宇 (工学院大学) 幹事：高塚 威 (新日本空調) 委員：石松維世 (産業医科大学), 高鳥浩介 (カビ相談センター), 長谷川兼一 (秋田県立大学), 山口 一 (清水建設), 湯懷鵬 (新菱冷熱工業), 横山真太郎 (北海道大学), 金 勲 (早稲田大学), 川崎たまみ (鉄道総合技術研究所), 松鶴悟実 (北九州市立大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. AIJES-A008-2013 浮遊微生物サンプリング法規準・同解説
講習会	1. 講習会「浮遊微生物サンプリング法規準」「微生物による室内空気汚染に関する設計・維持管理規準 (改定)」 参加者数 44 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム：『浮遊微生物サンプリング法規準』の制定に向けて 参加者数 40 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 意見公募を行い、とくに意見がなかった。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2012 年 6 月にシンポジウムを開催した。 2. 2012 年 10 月には、パブリックコメント募集のため内容を公開した。 3. 2013 年 3 月には「浮遊微生物サンプリング法学会規準・同解説」を発刊した。
委員会活動の問題点 ・課題	

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2012 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標達成度：計画通り，規準案を作成し，内部査読，第一次外部査読，シンポジウムの開催，意見公募，第二次外部査読の手順を経て学会規準を刊行した。 2. シンポジウムでは多くの意見が寄せられ，その全てに丁寧に対応し，その意見を反映した原稿を意見公募の原稿とした。 3. 講習会の出席者の半数以上が非会員であり，本規準に社会的な関心が集まった。 4. 小委員会活動の総合評価：A 			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。